

市民公益活動支援センターを考える会 第10回 議事録概要版

日時：2005年10月4日（火） 13:00～17:00

場所：NPO支援センターちば

記録：遠藤尚志

参加者：四元恒慈・山岡平三・高橋昌代・吉田孝子・松田月子・諏訪部正敏・小島琢夫・増田泰子・高田昭治・保田行弘・大島安輝子・岡田幸男・鬼澤徹雄・後藤能成
・・・合計14名他、事務局3名

欠席：藤田哲也・土谷和光・塚越忠夫・中村典道・吉村友佑・岡田哲郎

次第：1. 前回のおさらい

2. 運営協議会について

- 休憩

3. 支援センターとボランティアセンターの役割分担について

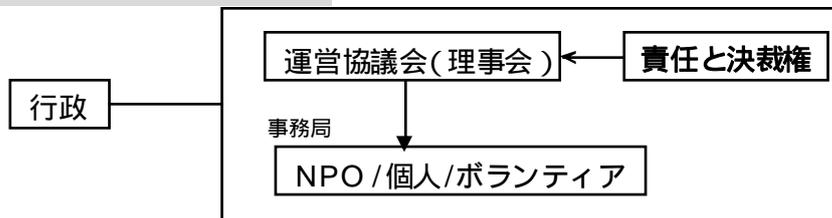
4. 場所について

5. 事務連絡

1. 運営協議会について

運営方法について以下の2パターンに関して意見を出し合った。

運営協議会が運営の主体



委託団体が運営の主体



様々な議論を経て、全体の方向としては、の運営協議会が運営の主体となるという結論となった。なお、「具体的な運営協議会の形」や「事務局作業を誰が行うのか」についてはタウンミーティング後に再検討することとする。

2. 支援センターとボラセンのかかわり方について

支援センターと社会福祉協議会ボランティアセンターの位置づけや役割分担、「支援センターはボランティアのマッチングを行うのか」について検討を行った。現状では、支援センターは「市民活動支援」、ボランティアセンターは「地域福祉」といったように、対象や得意分野に違いがあり、以下のような役割分担を行ってはどうかという議論となった。

< 役割分担 >

- ・お互いの強みを生かした棲み分けを行いながら、情報交換などの連携を行っていく。

< ボランティアマッチング >

- ・ワンストップサービスは、団体・社協などへの紹介で対応。
- ・将来的に要望が高まれば、ボランティアマッチングや育成も行うこととする。

3. 場所について

第9回で呼び出したアドバイザーの粉川さんのアドバイスを参考として「場所の選定」に関して、再検討を行った。主に「場所の賃貸料」を優先するのか、「人件費などの運営費」を優先するのかについて意見を出し合った。

- ・人が集まりにくい場所では事業が行いにくい。
- ・貸事務所を提供する代わりに、ボランティアとして貢献してもらうことで、人件費を安く抑えられるのでは
- ・正当な対価がないとボランティアは続かない
- ・ボランティアに頼りすぎてはいけないので、きちんとした職員が必要では
- ・きちんとした運営には、ある程度の専門性をもった職員がいる
- ・場所にお金を使いすぎると、今まで話してきた「機能」に関して、出来ないものがでてくる
- ・柏市の財政状況は相当厳しい
- ・一人正職員が居るだけで、マネージメントがうまくいきやすい

以上のような議論からアクセスも人材もどちらも重要であり、「最低限の運営費（人件費）を確保しつつ、残された予算内でJR柏駅周辺の場所を優先する」という方向になったが、引き続き検討を続けるということとなった。

4. 今回のまとめ

今回の会議では、以下の三点について検討を行った。

- (1) 運営協議会の責任の主体について
自主・自律した運営協議会とし、責任をもって運営にあたることとする。
- (2) ボランティアセンターとの役割分担
お互いの役割分担のもと、連携を図る。
- (3) 場所について
JR柏駅周辺の立地条件を最優先することとする。